

# 平成20年3月期 決算説明資料(連結)

 **WedsSport**

**weds** CO.,LTD.

平成20年5月  
株式会社ウェッズ  
(ジャスダック上場:7551)



# (株)ウェッズの事業内容

## (1) 販売網

- ・札幌～福岡まで全国12営業所にて、1万店を超える自動車用品販売店との取引があり、業界最大規模の販売力を保有

## (2) 物流体制

- ・愛知県岡崎市・山形県天童市に大型倉庫を保有しており、迅速・効率的なデリバリー体制を構築

## (3) 商品開発

- ・マーケットイン方式によりお客様のニーズをいち早くキャッチする商品開発体制を構築（クレンツェシリーズは代表的な高級ブランドとして定着）

## (4) 資本・財務

- ・筆頭株主がトヨタ自動車子会社の中央精機(株)
- ・安定的な資本構成と財務体質を保持

# グループ会社の事業内容

- ・(株)バーデン(100%出資子会社)
  - ・自動車用品小売3店の経営(安城1店・浜松2店)
  - ・中央精機向け産業機械の販売
  - ・福祉施設(グレイシャスビラ安城)の経営
  - ・携帯電話販売店の経営(ソフトバンク3店他)
- ・(株)スーパースター(100%出資子会社)
  - ・高級品アルミホイールの製造・販売
- ・(株)ロジックス(34%出資持分法適用会社)
  - ・当社商品の保管・配送業務
  - ・中央精機商品の検査・輸送・荷役業務

# 業績概要

(単位:百万円)

	18/3期		19/3期		20/3期		前期比
	金額	売上比	金額	売上比	金額	売上比	
売上高	24,398	100	23,476	100	23,457	100	100%
売上総利益	4,337	17.8	4,602	19.6	4,765	20.3	104%
営業利益	358	1.5	474	2.0	475	2.0	100%
経常利益	358	1.5	515	2.2	526	2.3	102%
税金等調整前当期純利益	427	1.8	575	2.5	526	2.3	92%
当期純利益	243	1.0	312	1.4	300	1.3	96%

## 【20/3期 年間業績予想の推移と結果】

当社は平成19年5月24日において、年間予想を売上高24,500百万円、営業利益450百万円、経常利益470百万円、当期純利益270百万円と発表しました。

その後、平成20年1月24日に自動車関連卸売事業における春需展開の遅れと冬需減少等から売上高23,000百万円、営業利益340百万円と下方修正をしましたが、最終的には本年1月以降の急激な円高等により、自動車関連卸売事業における総平均輸入為替レートが下がったこと及び開発事業の売上増加などから上記の結果となり、年初予算比で、売上高は減収となりましたが利益は増益となり、前期比でも同一レベルの業績を確保しました。

## 財務体質・収益性

(単位:百万円)

	18/3期	19/3期	20/3期	前期比(差)
総資産	12,874	13,123	12,265	93%
純資産	6,212	6,655	6,510	98%
有利子負債	3,463	3,937	3,277	83%
自己資本比率	48.3%	50.7%	53.1%	2.4%
有利子負債比率	26.9%	30.0%	26.7%	-3.3%
1株当り純利益	47円	70円	67円	96%
1株当り純資産	1,390円	1497円	1,464円	98%
売上高経常利益率	1.5%	2.2%	2.3%	0.1%
純資産利益率	4.0%	4.7%	4.6%	-0.1%

### 【主要増減要因】

- (1)総資産減少: その他流動資産及び現預金の減少により、前期比93%に減少しました。  
 (2)有利子負債減少: 借入金の減少により前期比83%に減少しました。

# キャッシュフロー概要

(単位:百万円)

		18/3期		19/3期		20/3期		前期比
キャッシュフロー	営業活動	860		▲ 782		1,186		—
	投資活動	▲ 358		▲ 441		▲ 726		165%
	財務活動	459		428		▲ 717		—
	計	961		▲ 795		▲ 257		—
B / S 主要残高	現金預金	1,543	0.8	747	0.4	489	0.3	66%
	売上債権	3,519	1.7	3,653	1.9	3,729	1.9	102%
	商品在庫	1,823	0.9	2,734	1.4	2,637	1.3	96%
	固定資産	5,021	2.5	4,933	2.5	5,026	2.6	102%
	買入債務	1,503	0.7	1,038	0.5	1,247	0.6	120%
	借入金・社債	3,463	1.7	3,937	2.0	3,277	1.7	83%

## 【主な要因】

- (1) 営業活動: 前期並みの利益を確保したこと及び仕入債務増加・棚卸資産減少等によって1,186百万円の営業資金を確保しました。
- (2) 投資活動: 福祉事業規模拡大のための土地取得やスーパースター国分工場建設等により726百万円の投資資金増加となりました。
- (3) 財務活動: 借入金の返済等により717百万円の財務改善となりました。

# セグメント別売上高

(単位:百万円)

	18/3期		19/3期		20/3期		前期比
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	
自動車関連卸売事業	20,167	83%	19,915	85%	18,462	79%	93%
自動車関連小売事業	1,479	6%	1,496	6%	1,771	8%	118%
開発事業	2,005	8%	1,135	5%	2,120	9%	187%
福祉事業	195	1%	387	2%	454	2%	117%
携帯電話代理店事業	713	3%	738	3%	841	4%	114%
消 去	-164	-1%	-195	-1%	-192	-1%	98%
連結計	24,398	100%	23,476	100%	23,457	100%	100%

## 【主要な前期との差異理由】

- (1) 自動車関連卸売事業: 廉価アルミホイールや用品等の減販により前年比93%となりました。
- (2) 自動車関連小売事業: ジェームス浜松志都呂店の営業開始により前年比118%となりました。
- (3) 開発事業: 中央精機向け機械納入増により前年比187%となりました。
- (4) 福祉事業: 老人ホーム入居率が概ね満床となり前年比117%となりました。

# セグメント別営業利益

(単位:百万円)

	18年3月期	19年3月期	20年3月期	前期差
自動車関連卸売事業	312	363	329	-33
自動車関連小売事業	16	20	-38	-59
開発事業	116	38	119	81
福祉事業	-85	40	54	13
携帯電話代理店事業	-3	13	9	-3
消 去	1	-2	0	-2
連結計	358	474	475	1

## 【主要な前期との差異理由】

- (1)自動車関連卸売事業: 廉価アルミホイール等の減販と新設したスーパースター国分工場の経費増等により前期比33百万円の減益となりました。
- (2)自動車関連小売事業: 用品小売市場の低迷による既存店収益力の低下と3号店開業経費増により赤字となり前期比59百万円の減益となりました。
- (3)開発事業: 中央精機(株)向け売上高の大幅増加により前期比81百万円の増益となりました。
- (4)福祉事業: グレイシヤスビラ安城の事業が軌道に乗り前期比13百万円の増益となりました。



# 第2四半期・年間業績予想

(単位:百万円)

	20年9月期	前年同期比	21年3月期	前期比
売上高	9,500	107%	24,000	102%
営業利益	30	—	500	105%
経常利益	50	113%	550	104%
当期純利益	20	116%	320	107%

大変厳しい経済環境が続いておりますが、平成21年3月期の年間業績予想は、下記に掲げる経営課題に対処しながら、着実な利益体質強化に取り組んで参ります。

- 自動車関連卸売事業
  - (1) 高中級アルミホイール商品開発力の強化
  - (2) 営業力の強化及びシステム構築
  - (3) 商品管理の強化
  - (4) 高級品3ピース製造販売の拡充
- 自動車用品小売事業の収益性改善と規模拡大
- 福祉事業の拡充
- 輸出売上高の確保

# トピックス

## 1. 北米に販売会社設立

- ・米国ロスアンゼルス市に本年4月1日当社100%出資子会社を設置しました。
- ・国内需要低迷下、輸出売上増加のために、北米に拠点を設置し、ホイールや用品の拡販に努めます。

## 2. 記念配当実施

- ・本年6月26日の定時株主総会に付議してご承認をお願い申し上げる予定ですが、本年度は株式公開10年目にあたるため、記念配当を含み年間15円の配当を予定しております。(前年比3円増加)

当社の平成20年3月期決算の詳細な内容については、  
当社ホームページ「IR情報」に掲載している「決算短信」等も  
あわせてご覧下さい。

URL: <http://www.weds.co.jp>